



鈴木 弘 睦 議員

ワクチン接種と

感染症対策は

問 祭りの再開について市の見解は。

答 山梨祇園祭り、秋祭りと令和3年は全て中止となった。新型コロナウイルス感染症は、現在、小売状態だが、引き続き、感染防止対策の徹底やワクチン接種の推進、医療体制の強化により、来年度は開催できることを期待している。

市内の喫煙所撤去後の周辺環境は

問 喫煙所撤去後の影響についての市の見解は。

答 市所管施設の敷地内完全禁煙を実施し、袋井駅の南北喫煙所も撤去した。市所管施設や袋井駅周辺では、まだ吸い殻のポイ捨てが見受けられるため、喫煙マナー向上の啓発に引き続き努める。

袋井市の農業政策

問 県営農業競争力強化農地整備事業の事業スキームは。

答 県の整備調査の結果に基づき、市は地元関係者の調整を行う。地元は、事業推進協議会を設立し、地権者などの同意を確認して3分の2以上の同意を得て事業着手となる。下山梨地区は、広いエリアを幾つかの地区に分け、地区検討会を立ち上げて進めていく。



令和3年に行われた山名神社例大祭

黒岩 靖子 議員

有機農業の普及への取り組み

問 国は、環境負荷軽減を目指す「みどりの食料システム戦略」を策定した。市内は水田が多く、SDGsの観点からも、有機農業を稼ぐチカラに向けた取り組みとする市の考えは。

答 有機農業をはじめとする、環境負荷が小さい農業の取り組みは、今後、消費者ニーズが高まると見込まれる。有機農産物の販売には、有機JAS認証の取得が必要となるため、認証取得に向けた相談支援などに努めていく。

問 有機肥料を生産する取り組みに対し、交付金を支援する考えはあるか。

答 有機農業に関わる作業全般に対し、環境保全型農業直接支払交付金による包括的な補助を行っており、本制度による支援を継続していく。

犬猫殺処分ゼロへ

問 犬猫殺処分ゼロに向けて、市が取り組んでいることは。

答 県全体で、令和2年度の保護及び引き取りの犬猫の頭数1451頭のうち、378頭が殺処分となった。市は県と連携し、市ホームページや動物愛護週間に合わせたチラシなどで、飼い主のモラルやマナーについて、啓発を行っている。



今井小学校児童が田植えを体験

村井 勝彦 議員

公共施設における木材の利用の取り組み

問 袋井市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針に基づく取り組みは。

答 本市の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針については、平成24年に策定し、ホームページにおいて周知している。また、市の公共施設への木材の利用のほか、市内で施工される県事業への利用協力など、木材の利用の促進に努めている。

公共施設の利用の向上に向けた取り組み

問 施設利用の稼働率が低調である要因は。

答 全施設の中で、稼働率が低い傾向にあるコミュニティセンターの和室やメロプラザの楽屋などは用途が限られる施設であり、休日や平日の夜間の利用が多い一方、平日の昼間の利用が少ないことなどが要因の一つと考える。



木材を活用した袋井西コミュニティセンター



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。